

臨床研究「脳虚血超急性期におけるマルチパラメトリック MRI の有用性」について
国立病院機構水戸医療センターでは、標題の臨床研究を実施しております。
本研究の概要は以下の通りです。

① 研究の目的

脳虚血超急性期における患者においてマルチパラメトリック「DWI（非可逆的組織障害検出）・FLAIR（皮質枝閉塞）・SWI（塞栓子の原因と Misery perfusion）・T2WI(陳旧性脳梗塞、急性期脳出血)・MRA・ASL（脳血流量）・造影灌流画像（循環予備能の評価）」を施行することにより、最適な抗血栓療法（血栓溶解や血栓回収）の選択、最終梗塞の予後予測評価を目的としています。

② 研究対象者

許可日～2020年3月31日までに国立病院機構水戸医療センターで脳虚血超急性期が疑われ抗血栓療法（血栓溶解や血栓回収）の対象となる症例においてマルチパラメトリック MRI を施行した患者

③ 研究機関

倫理審査委員会承認後～2020年3月31日まで

④ 研究の方法

後ろ向き研究でマルチパラメトリック MRI が施行された症例において、脳組織障害が可逆的なうちに（therapeutic window of time）脳虚血状態を診断し、最適な治療（血栓溶解療法のみならず、抗凝固療法や神経細胞保護）につなげられたか検討します。

⑤ 試料・情報の項目：画像データ・診療記録

⑥ 試料・情報の項第三者への提供について：提供しません

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ先

国立病院機構 水戸医療センター：〒311-3114 茨城県東茨城郡茨城町桜の郷 280
所属・担当者名：放射線部 部長 井田正博
電話：029-240-7711（平日 9～17 時）